

穂学

令和2年度

広州日本人学校 学校便り

[No. 14]

令和2年10月8日(木)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「新任教員7名が着任しました！」

10月1日から始まった7日間の国慶節休みが終わりました。今年は中秋節と日が重なったことから、町中には両方の祝日を祝う看板が多く見られました。下の写真は越秀区にある麗湖公園で見かけたものです。穏やかな天気にも恵まれた国慶節には、約6億人が国内を中心に移動したと報じられていました。児童生徒及び保護者の皆様も、きっと素敵な休日を過ごされたことでしょう。

さて、国慶節明けの本日10月8日から2学期後半がスタートしました。文書でもお知らせしましたとおり、4月赴任予定だった7名の先生方が着任しました。朝、着任式を行い児童生徒に紹介するとともに、先生方お一人ずつに着任のあいさつをしていただきました。「広州に来られて本当にうれしい。」「ずっと皆さんに会えるのを楽しみにしていました。」「皆さんの元気なあいさつを待っています。」など、短い時間でしたが、赴任の喜びとこれからの抱負をお話していただきました。

その後の授業では、学年ごとに歓迎会を開いて歓迎の歌を歌ったり、算数を教えてもらったり、児童ひとりひとりが自己紹介を行った後に先生への質問タイムをもうけたりと、和やかな雰囲気先生方を迎えてくれました。

約半年間、日本から様々な形で授業や研修、会議などに参加していただきましたが、これからは直接、児童生徒に関わることで信頼関係が築かれるものと期待しています。下記にそれぞれの先生方を紹介いたします。



日暮恭明教頭先生



仲山李子先生



川村翔太先生



久保健一先生



濱田 誠先生



茶屋真実子先生



多田祐亮先生



国慶節明けから少しずつ児童生徒が戻りつつあります。本日8名の児童生徒が加わり、10月末までに30名ほどが帰ってくる予定です。10月31日の運動会をたくさんのお子様たちや保護者の皆様と一緒に開催できることを楽しみにしております。引き続き、ご支援ご協力のほど宜しくお願いいたします。